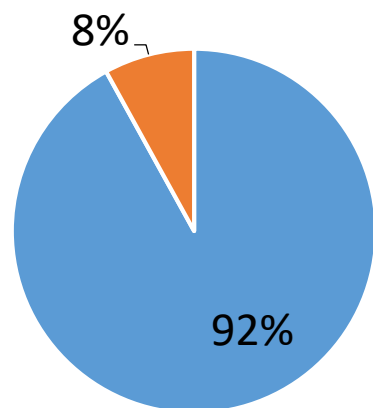


# 板橋区コミュニティ・スクールに係る アンケート調査《CS委員回答用》 まとめ

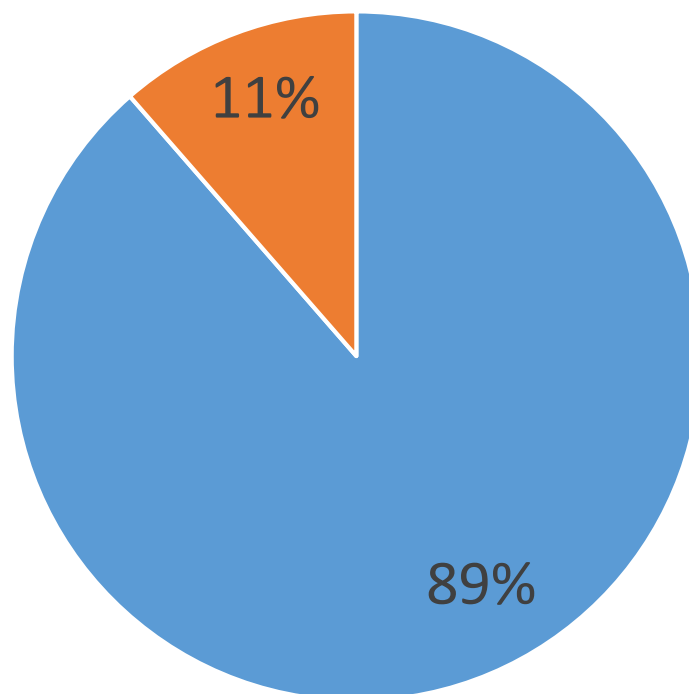
令和5年度

## Q1 会議の開催時間や開催時期・開催数は適切であったと思いますか。

令和4年度



令和5年度



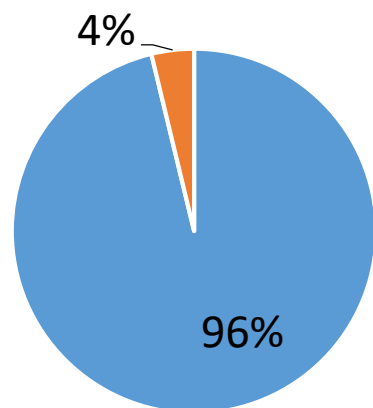
■ 思う ■ 思わない

約89%の委員が会議の開催時期・開催数は適切であったと回答した。

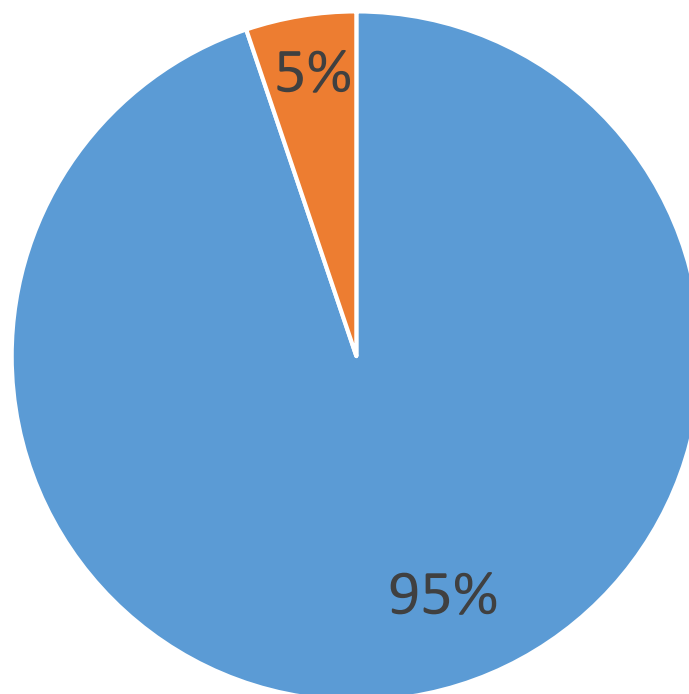
思わないとする回答の中には、CS委員会が本来の役割を果たすためには、会議の回数や時間数が足りないとする意見がみられた。

## Q2 熟議のテーマ設定は適切であったと思いますか。

令和4年度



令和5年度



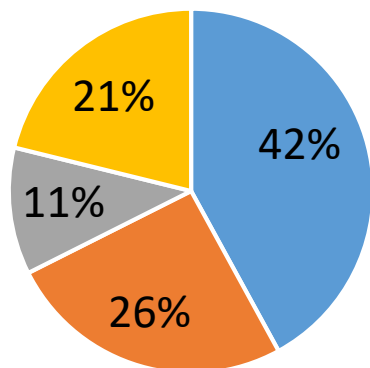
■ 思う ■ 思わない

熟議のテーマが適切であったと思う委員は、約95%であった。

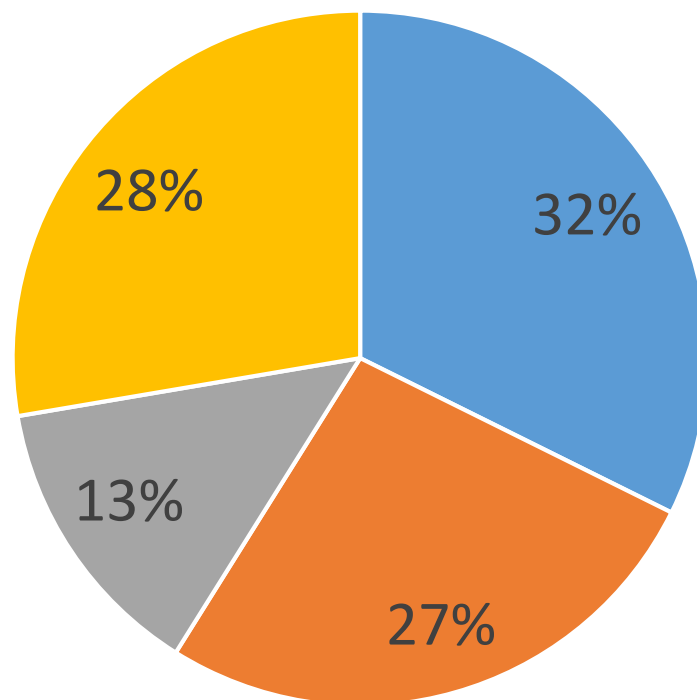
思わないとする回答の理由として、「1年間を通してテーマを決めた方が有意義な熟議になる」「事前にメール等でテーマを示してほしい」との意見がみられた。

### Q3 CS委員会の開催方法として、書面開催及びWEB開催は必要だと思いますか。

令和4年度



令和5年度



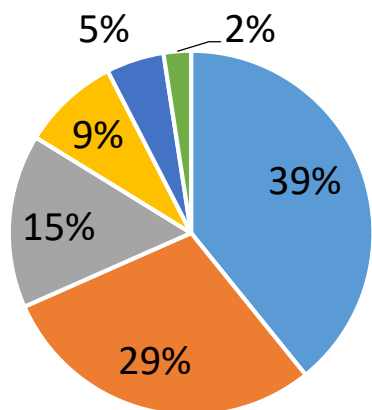
- 両方必要
- 書面開催は必要
- WEB開催は必要
- どちらも必要ではない

書面開催及びWEB開催が必要だと思う委員は、約72%であった。

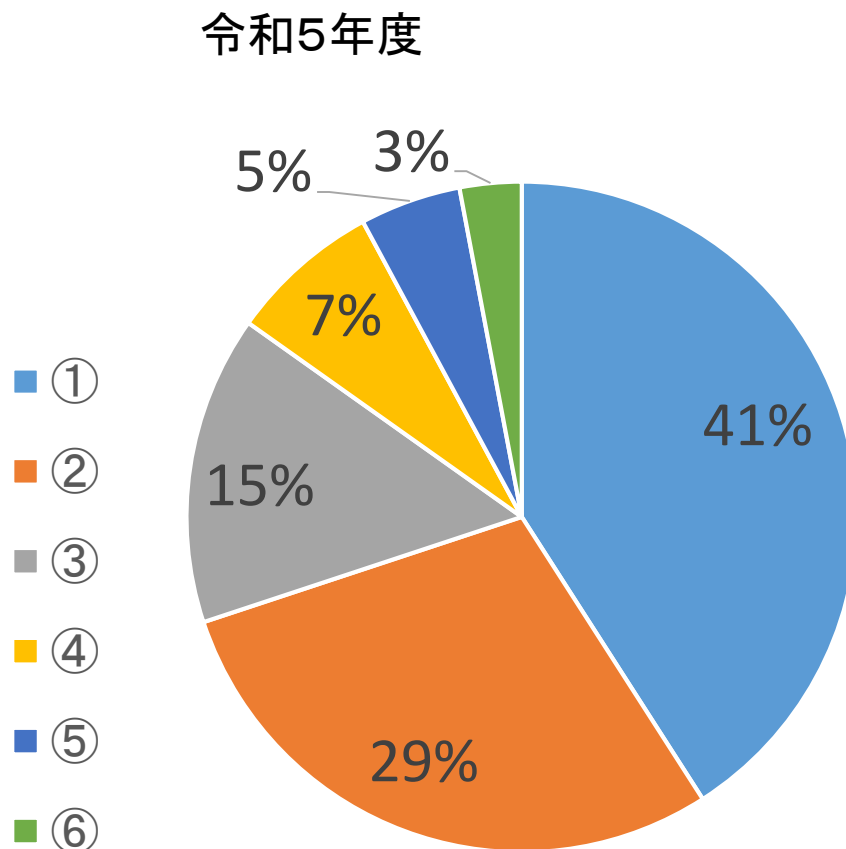
状況によっては必要であるが、より深い熟議を行うためには、顔を合わせて会議を行うことが理想であるとの意見が多くみられた。

## Q4 地域とともにある学校を実現するにあたり、最も必要だと思う要素を1つ選択してください。

令和4年度



令和5年度



①及び②について、最も必要だとする回答が多かった。

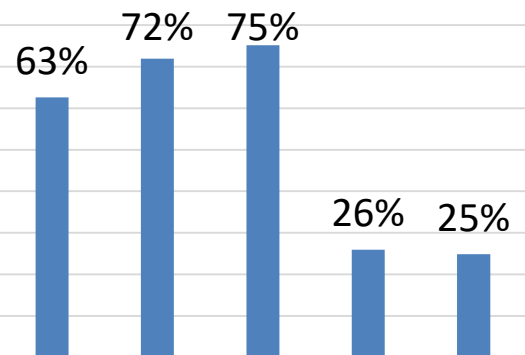
意識の醸成や目標を共有できる熟議の在り方については当面の課題と考えられる。

- ①地域との連携・協働が不可欠だとする学校・教職員の意識
- ②学校と地域が目標・ビジョンを共有するための熟議の実施
- ③地域の特色を生かした教育活動の展開

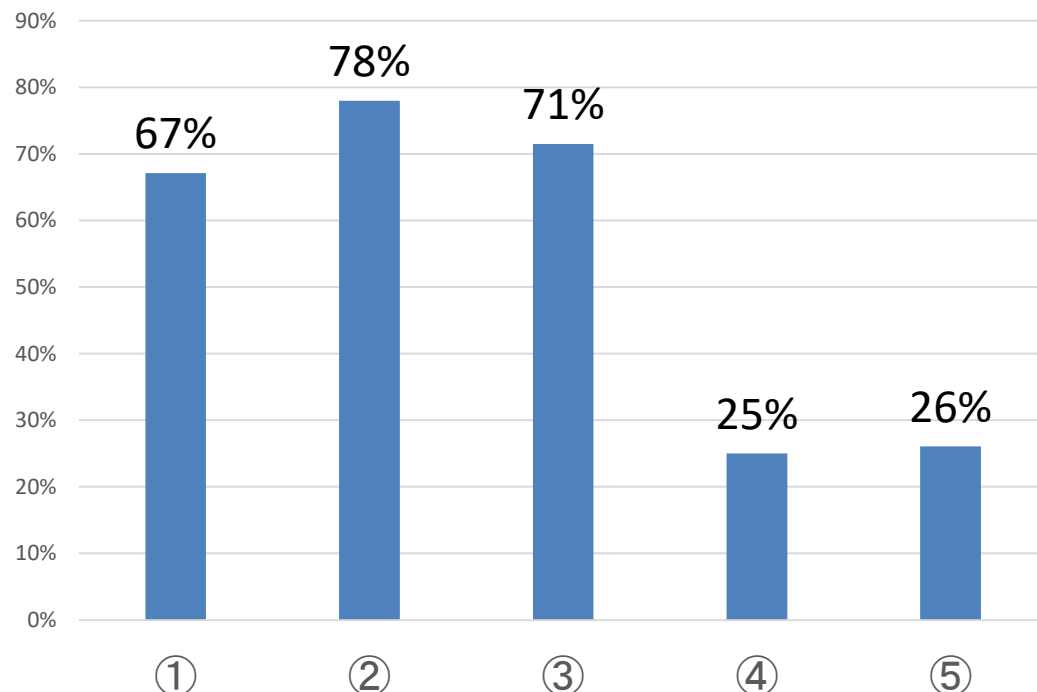
- ④地域人材の学校経営への参画
- ⑤地域への学校施設開放
- ⑥その他

## Q5 学校の仕組みのうち、理解しているものを全て選択してください。

令和4年度



令和5年度



①～③については、多くの委員が理解していた。一方で④・⑤については、理解している委員は少数である。委員が学校の仕組みを知ることが重要であるという意見も多くみられた。

①教職員の勤務時間

②教職員の職層の仕組み(校長・副校長・主幹教諭など)

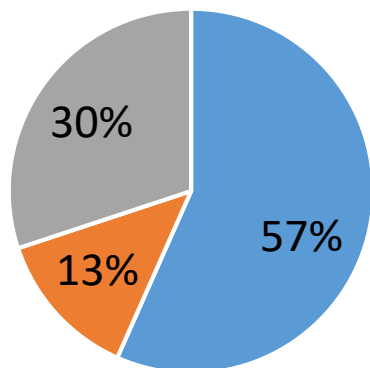
③学校で働いている教職員の種別(教員、事務職員など)

④教育課程の編成の仕組み

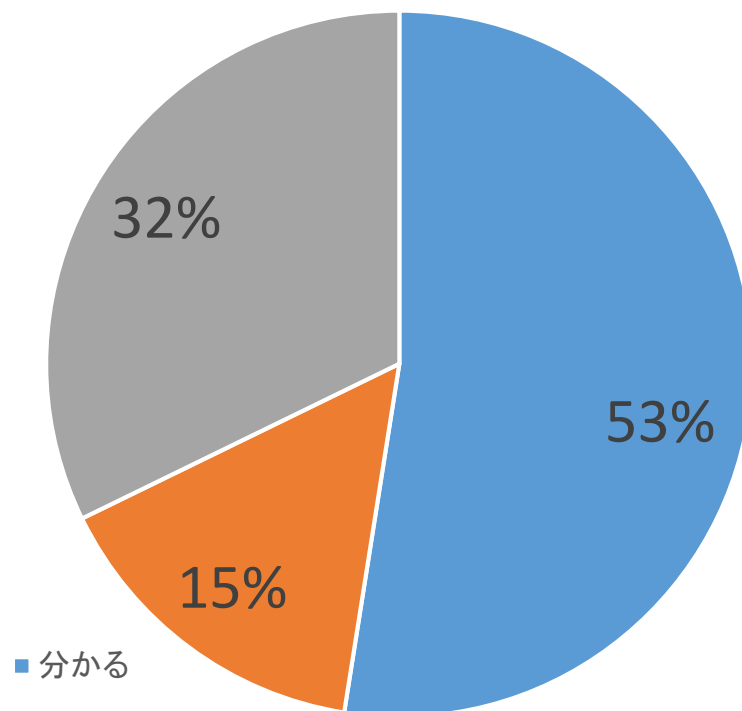
⑤教職員の異動の仕組み(異動対象者、任命権者など)

## Q6 学校支援地域本部がどのような活動を行っているのか分かりますか。

令和4年度



令和5年度

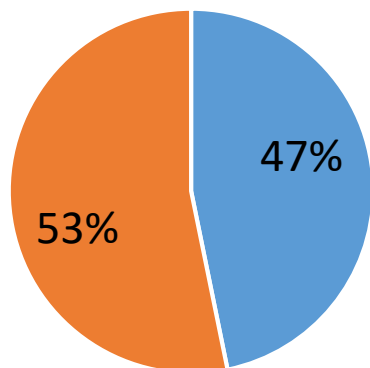


- 分かる
- 分からない
- どの活動が該当するのか分からない

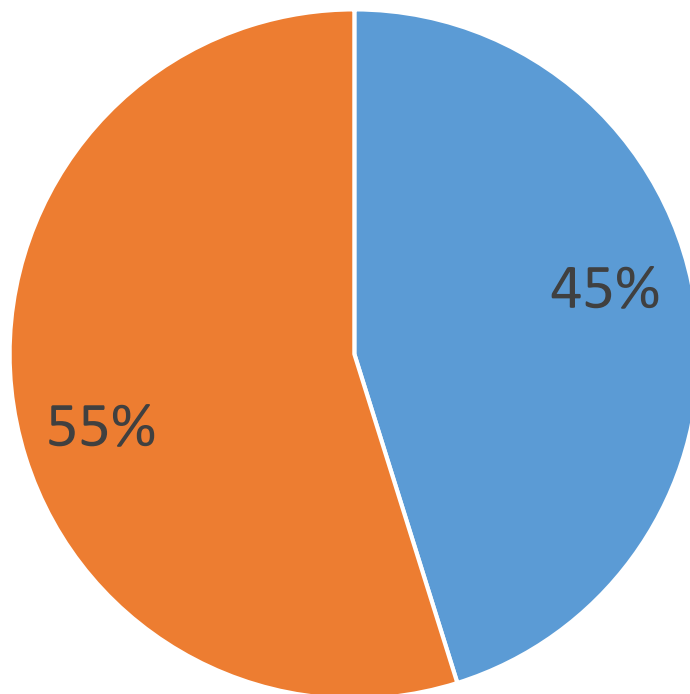
iCSの両輪である学校支援地域本部について、約53%の委員が分かると回答しているが、委員の中には地域コーディネーターを含むため、実際の認知度はもう少し低いと推測される。

# Q7 1年間CS委員として活動してみて、CS委員会について課題と感じていることはありますか。

令和4年度



令和5年度



■ ある ■ ない

約45%の委員がCS委員会に課題があると回答した。

## 【主な意見】

- 委員としての影響力、権限がわからない
- 活動の成果が見えない
- 運営が学校任せになっている など

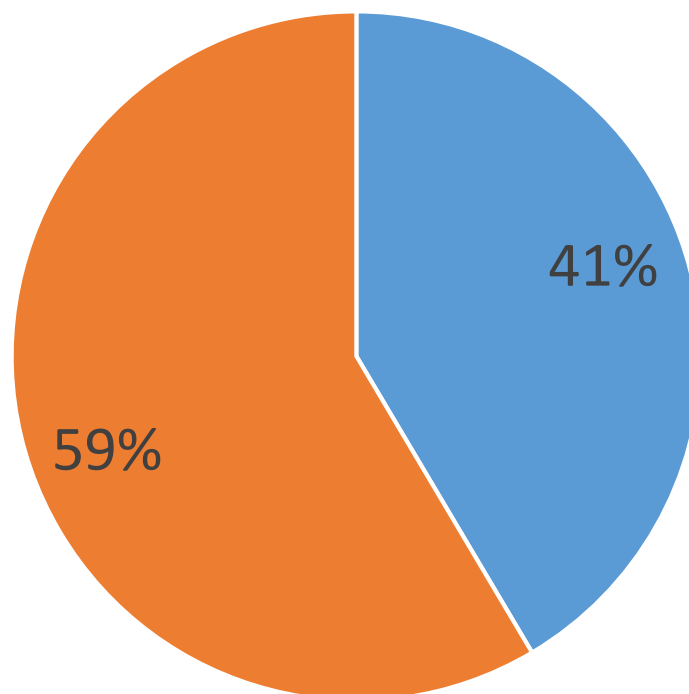


## Q8 委員の任期に更新限度を設定した方がいいと思いますか。

令和4年度

令和5年度

設問なし



■ 思う ■ 思わない

約41%の委員が、任期に更新限度を設定した方がいいと回答した。

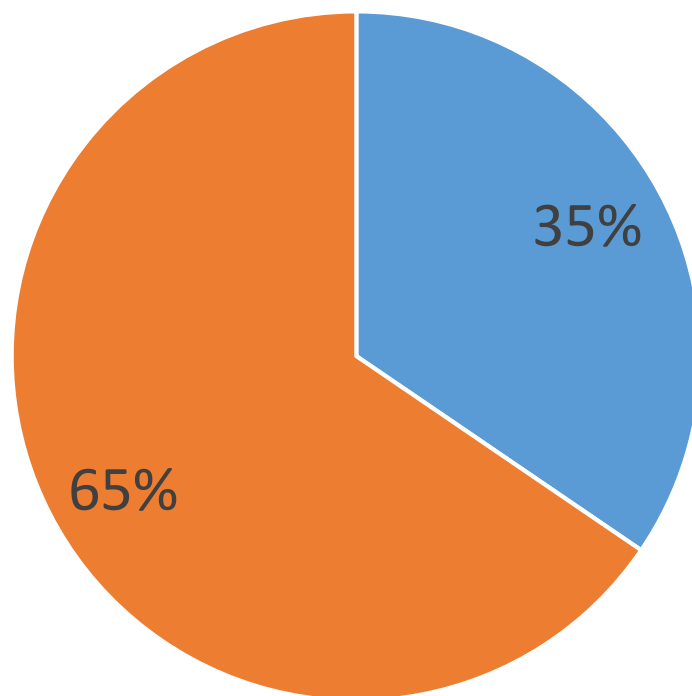
2年～5年程度の回答が多く寄せられた。

## Q9 委員長の任期についても定めた方がいいと思いますか。

令和4年度

設問なし

令和5年度



■ 思う ■ 思わない

約35%の委員が、委員長の任期について定めた方がいいと回答した。

委員の任期と同じく、2年～5年程度との回答が多く寄せられた。

**Q10 CS委員会や学校支援地域本部に関して、学校や教育委員会に対する要望・意見等がある場合にはご記入ください。**

主な意見の内容とそれに対する回答

意見	回答
<p>iCSの活動をよりよく継続させるために教育委員会には、適宜サポート体制を充実させてほしい。</p>	<p>CS委員会や学校支援地域本部事業等に積極的に赴き、各学校や委員、地域コーディネーターとコミュニケーションを図りながら、理解に努める。委員のCS委員会や学校についての理解を深めるため、研修会や情報交換会等を開催していく。</p>
<p>CS委員会の役割がつかみきれない。学校の仕組みについて学ぶ機会が欲しい。</p>	
<p>他校のCS委員会の様子や資料を見て、参考にしたい。</p>	<p>iCSレターの定期的な発行や、iCSフォーラム等の開催を行い、情報共有等を充実させていくよう努める。学校やCS委員からも、学校だよりやiCSだより等を通じて、周知・啓発を行っていただきたい。</p> <p>教職員や保護者をゲストやオブザーバーとして参加できる回を設けるなど各委員会で検討していただくのも方策の一つと考える。</p>
<p>CS委員会や学校支援地域本部の活動を保護者や地域の方に知ってもらえると、学校や委員も活動がしやすくなる。</p>	